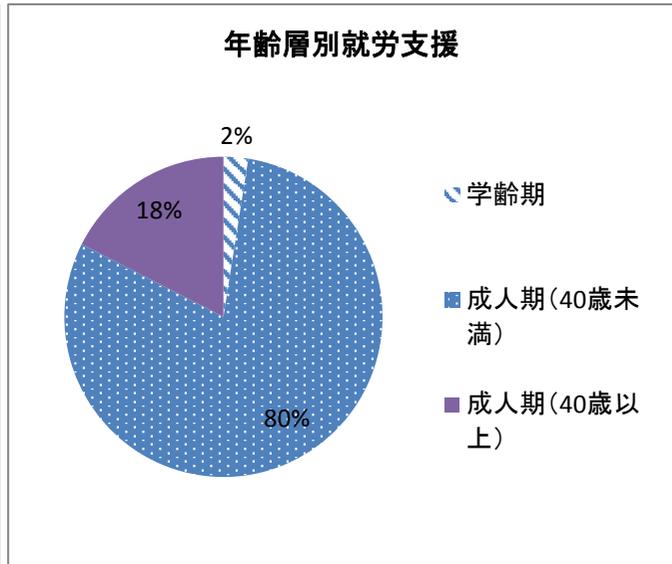
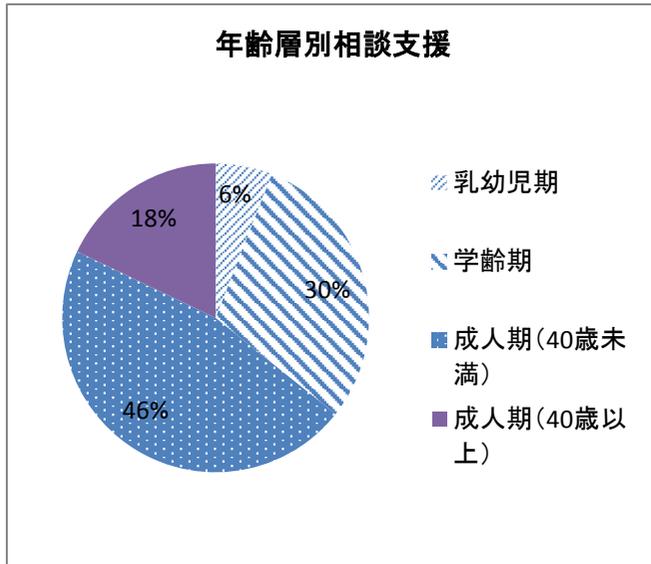


<相談件数(実支援人数)>

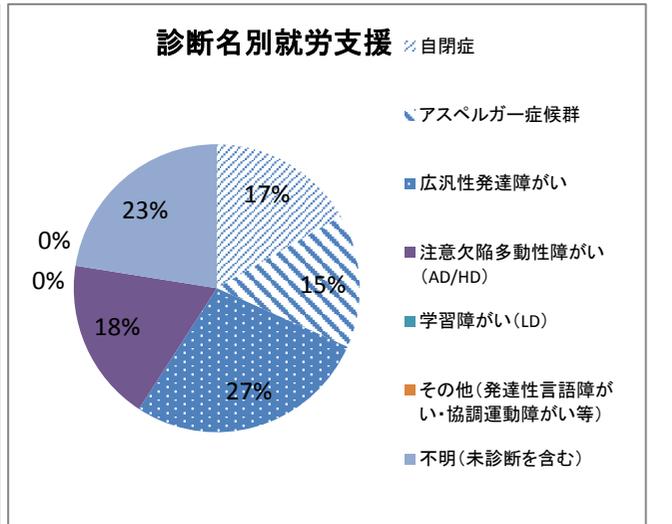
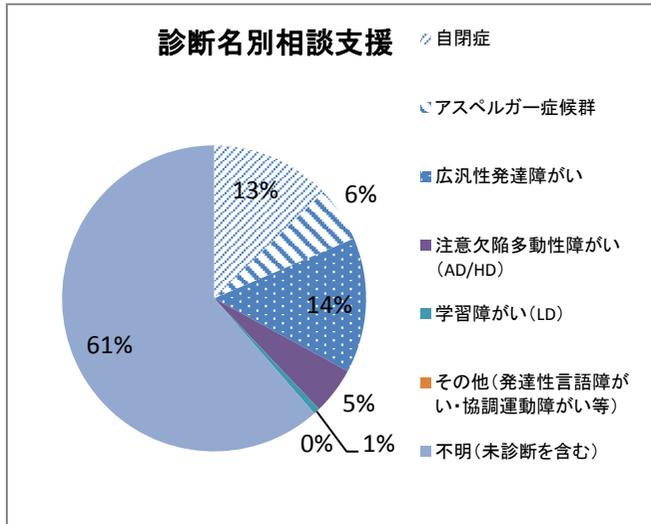
1. 年齢別

	相談・発達	就労	小計
乳幼児期	36	0	36
学齢期	179	3	182
成人期(40歳未満)	279	96	375
成人期(40歳以上)	108	21	129
合計	602	120	722



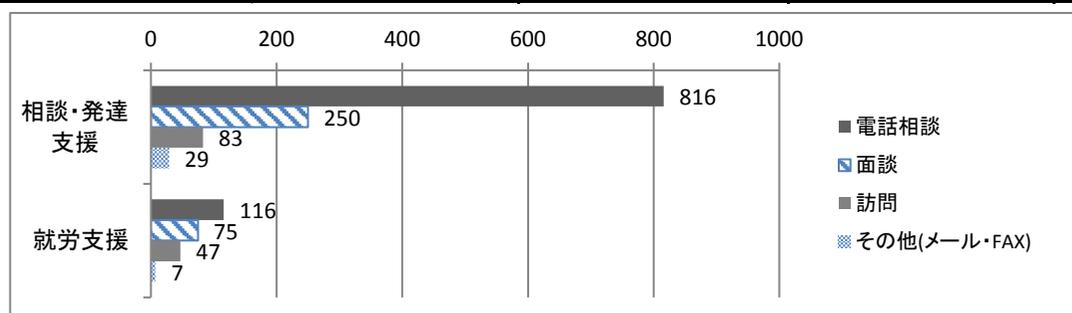
2. 診断別(実支援人数)

	相談・発達	就労	小計
自閉症	77	20	97
アスペルガー症候群	35	18	53
広汎性発達障がい	86	33	119
注意欠陥多動性障がい(AD/HD)	30	22	52
学習障がい(LD)	4	0	4
その他(発達性言語障がい・協調運動障がい等)	0	0	0
不明(未診断を含む)	370	27	397
合計	602	120	722



3. 相談方法(延べ)

	電話相談	面談	訪問	その他(メール・FAX)
相談・発達支援	816	250	83	29
就労支援	116	75	47	7

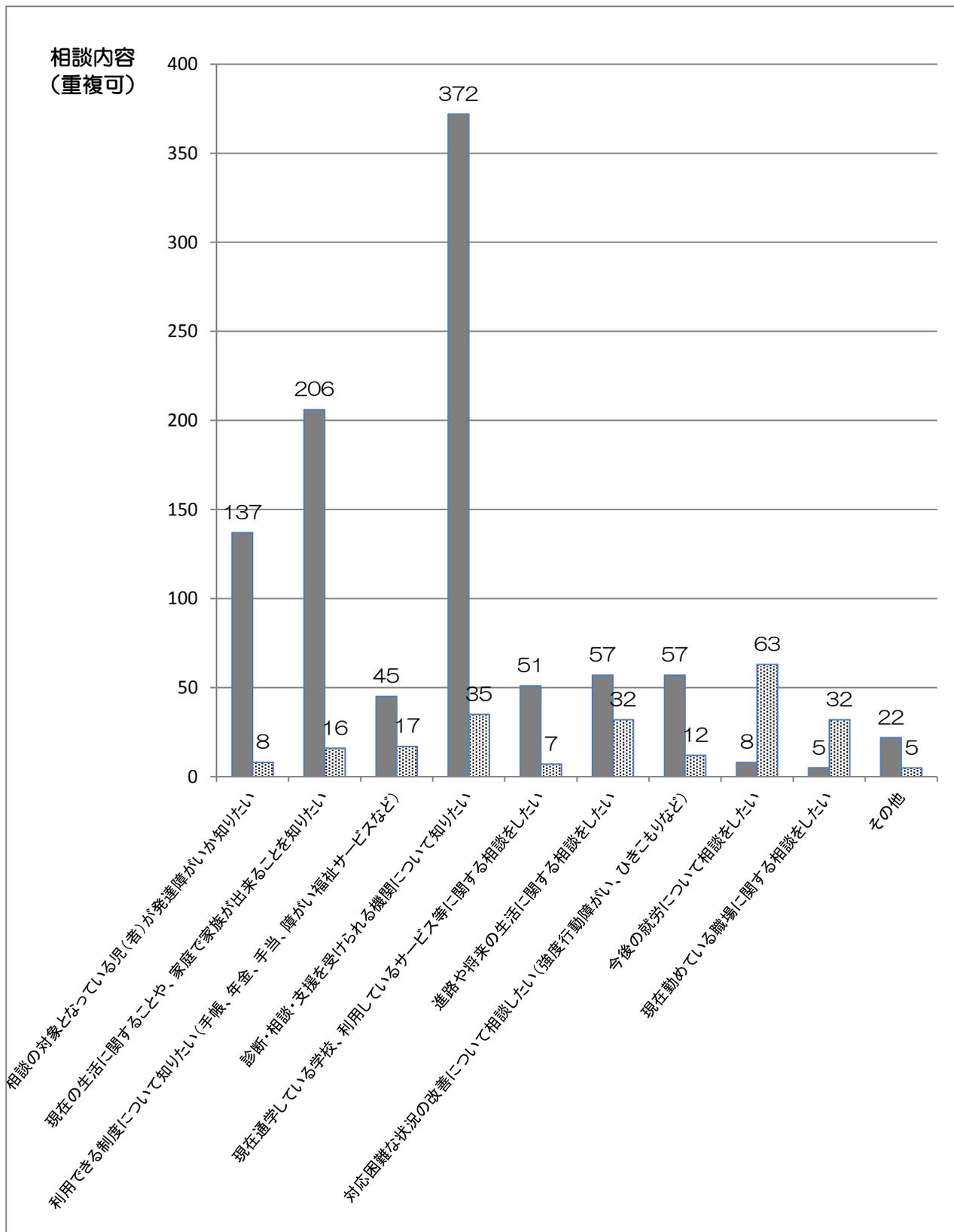


4. 相談内容（重複選択可）

相談・発達

就労

相談内容	相談・発達	就労
相談の対象となっている児（者）が発達障がいを知りたい	137	8
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい	206	16
利用できる制度について知りたい（手帳、年金、手当、障がい福祉サービスなど）	45	17
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい	372	35
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい	51	7
進路や将来の生活に関する相談をしたい	57	32
対応困難な状況の改善について相談したい（強度行動障がい、ひきこもりなど）	57	12
今後の就労について相談をしたい	8	63
現在勤めている職場に関する相談をしたい	5	32
その他	22	5
合計	960	227



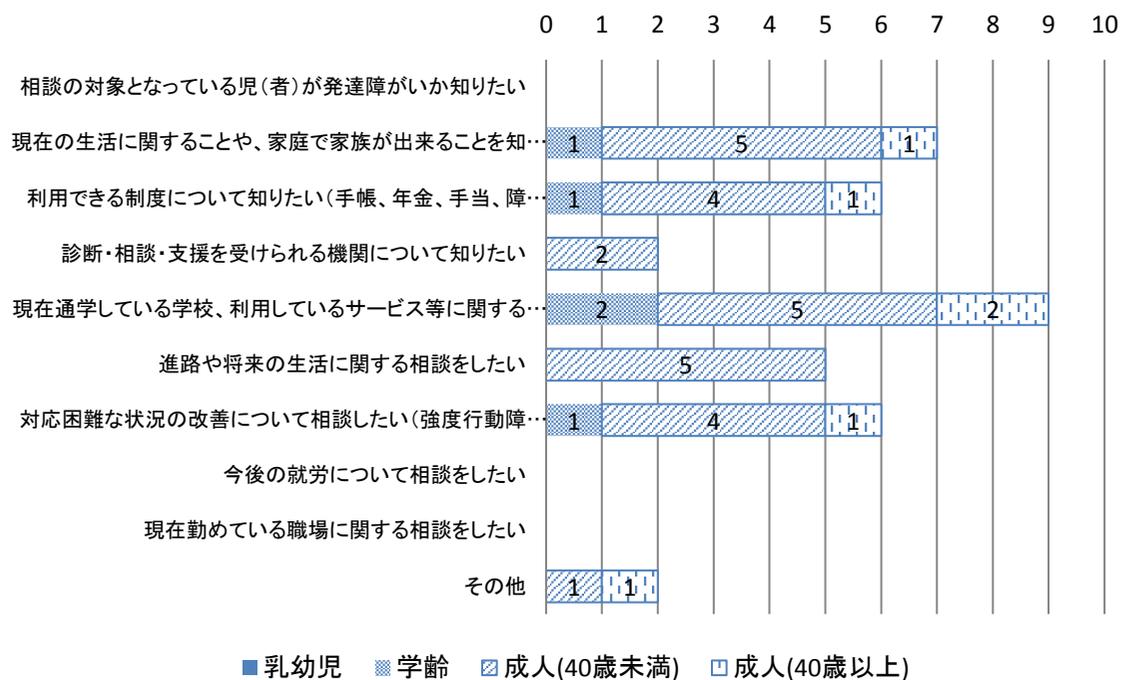
<調整会議>

※「相談・発達・就労支援」に伴うケース本人も含めた会議

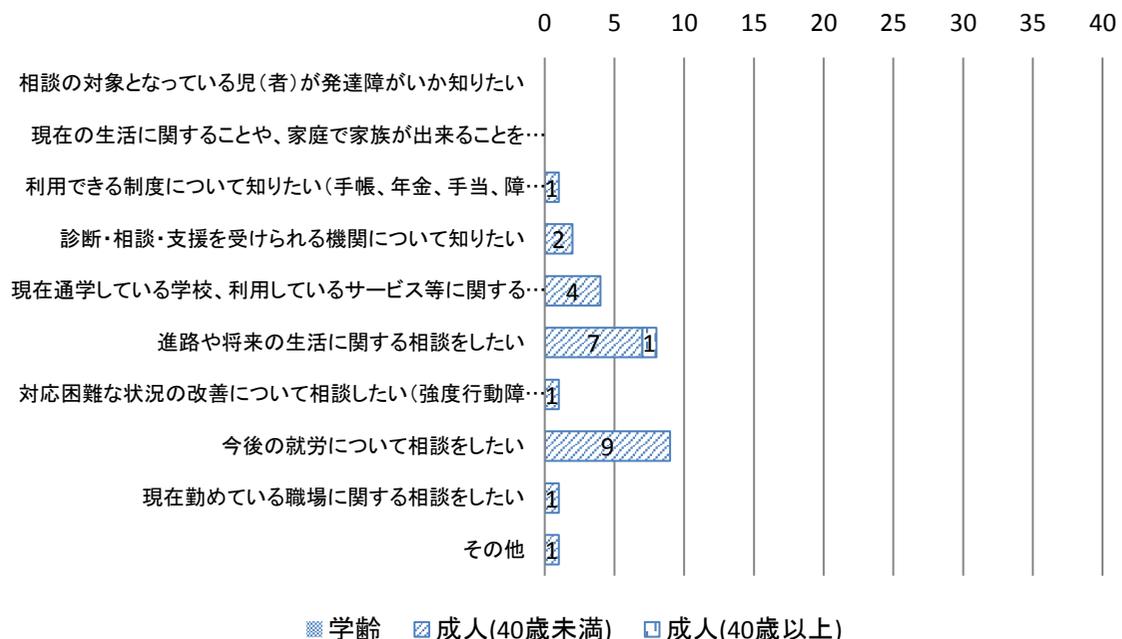
会議内容（相談内容から再掲,同年度・複数回同内容は数えず）

	相談・発達				就労			
	乳幼児	学齢	成人(40歳未満)	成人(40歳以上)	乳幼児	学齢	成人(40歳未満)	成人(40歳以上)
相談の対象となっている児(者)が発達障がいを知りたい								
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい		1	5	1				
利用できる制度について知りたい(手帳、年金、手当、障がい福祉サービスなど)		1	4	1			1	
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい			2				2	
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい		2	5	2			4	
進路や将来の生活に関する相談をしたい			5				7	1
対応困難な状況の改善について相談したい(強度行動障がい、ひきこもりなど)		1	4	1			1	
今後の就労について相談をしたい							9	
現在勤めている職場に関する相談をしたい							1	
その他			1	1			1	
合計	0	5	26	6		0	26	1

調整会議(相談・発達)



調整会議(就労)



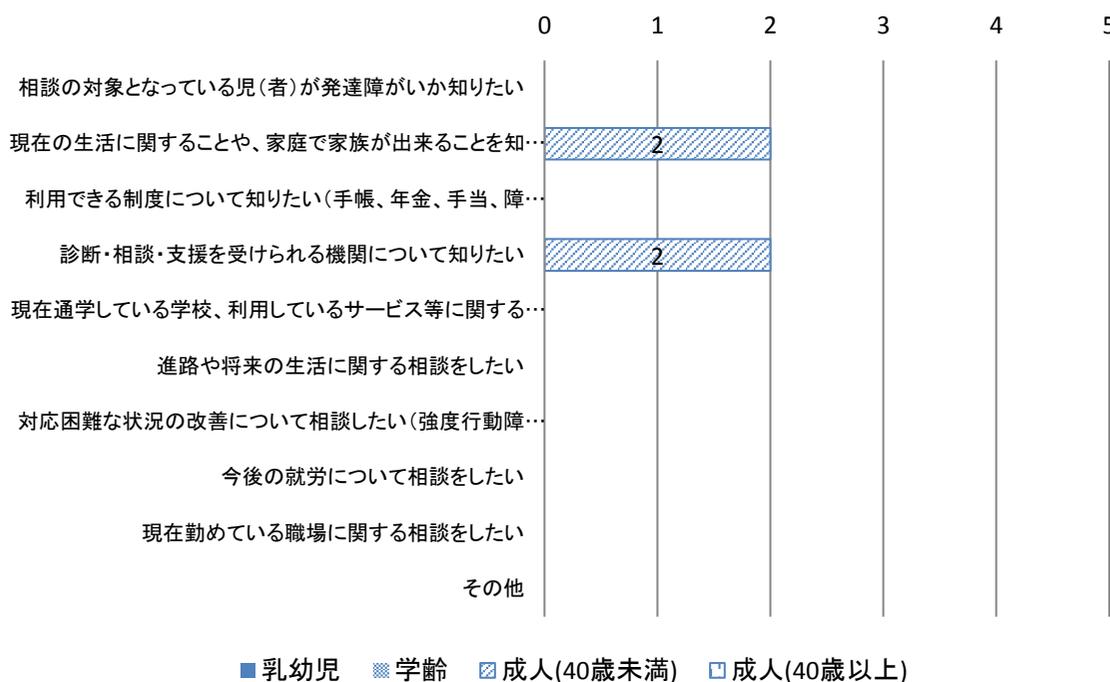
<機関コンサルテーション>

※「相談・発達・就労支援」に伴う施設からの依頼に基づく職員等への助言、支援者のみ会議

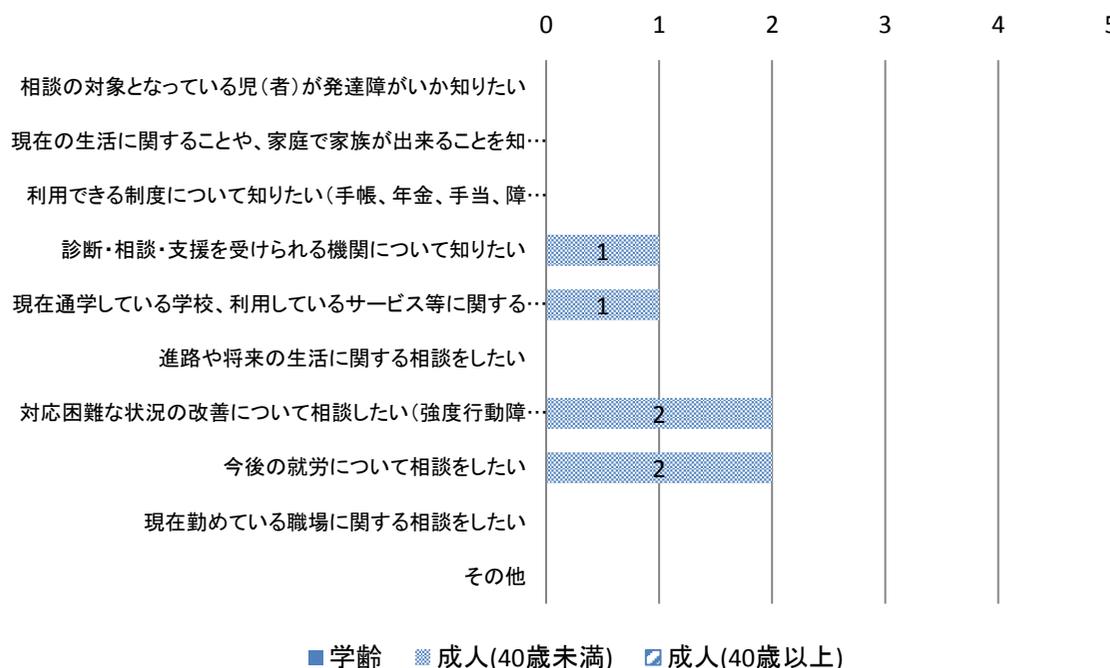
会議内容（相談内容から再掲,同年度・複数回同内容は数えず）

	相談・発達				就労			
	乳幼児	学齢	成人(40歳未満)	成人(40歳以上)	乳幼児	学齢	成人(40歳未満)	成人(40歳以上)
相談の対象となっている児(者)が発達障がいを知りたい								
現在の生活に関することや、家庭で家族が出来ることを知りたい			2					
利用できる制度について知りたい(手帳、年金、手当、障がい福祉サービスなど)								
診断・相談・支援を受けられる機関について知りたい			2				1	
現在通学している学校、利用しているサービス等に関する相談をしたい							1	
進路や将来の生活に関する相談をしたい								
対応困難な状況の改善について相談したい(強度行動障がい、ひきこもりなど)							2	
今後の就労について相談をしたい							2	
現在勤めている職場に関する相談をしたい								
その他								
合計	0	0	4	0		0	6	0

機関コンサルテーション(相談・発達)



機関コンサルテーション(就労)



<地域住民向け講演会、主催・共催研修、講師派遣>

主催・共催研修(地域住民向け講演会、支援者向け講座)

ペアトレ公開講座	4	保護者・地域住民向け 206	
ペアトレ開始前事前レクチャー	24		
ペアトレ(乳幼児期)	24		
ペアトレ(学齢期)	38		
ペアトレ(区役所版)	80		
ペアトレ実践報告会	今後実施予定		
ペアトレフォローアップ	17		
ソーシャルスキル講座(乳幼児期)	3		
ソーシャルスキル講座(学齢期)	3		
自閉症スペクトラム講座	6		
読み書き・計算・ことば(LD)	4		
ADHDスポット講座	1		
保護者(子育て支援講座含む)	2		
児童発達支援・放課後等デイ支援者講座	2		支援者向け 12
ライフスキル講座(中高生・成人)	6		
成人期支援者養成基礎講座	1		
成人期支援者スキルアップ講座	3		
成人期支援者スキルアップ実践報告会	今後実施予定		
ペアトレ支援者養成講座	2		
発達障がい当事者講演会	今後実施予定		
220			

講師派遣(支援機関対象 訪問支援・出前研修)

市(福祉局など)	5
区(保健福祉センター)	13
区主催ペアトレ(再掲)	80
自立支援協議会	2
社協	2
教育関係	9
保育園・幼稚園	113
障がい児支援機関	126
青年成人期支援機関	160
相談支援機関	20
居宅サービス提供機関	9
他福祉サービス(高齢者支援・地域定着生活支援等)	4
労働関係(ジョブコーチ研修講師)	1
その他(親の会等)	18
562	

発達ノート発行数

28年4月~12月	214	累計	1272
-----------	-----	----	------

・相談支援については、成人期6割強、学齢期3割、乳幼児期1割弱と若干成人期が増え、乳幼児期の相談が減少した。就労関係の相談に関しても例年程度の件数となっている。

・相談対象者の診断別での分類においては、未診断が6割(例年同水準)あり、電話相談の時点で診断可能な医療機関の情報提供を実施することが多い。診断済みの方からは利用できる社会資源(相談支援機関等)や福祉サービスの利用等についての情報提供をおこなうことが多い。

・相談の主訴に関しては、「情報提供」(医療機関や社会資源)が一番多くなっているが、家族への対応方法の助言についてや、特性の理解といった情報提供にとどまらず、専門的な内容を希望される方や、障がい福祉サービス等の利用の具体的な方向性、自身・家族でできる工夫の助言、感情のコントロールの方法といったことなどの継続的な相談を希望する内容も多い。また、夫婦のどちらから「配偶者が発達障がいなのか」という相談についても昨年度に比べ目立つようになってきている。

・機関支援や研修・啓発については地域サポートコーチ事業の開始によって、保護者支援(ペアトレ・トレーニング)、支援者対象研修(講師派遣含む)等、多岐にわたる講座を複数の地域で開催することが可能となり今年度は児童発達支援・放課後等デイサービスの支援者向けの講座を新たに実施した。

